

熊本県

令和元年度 九州厚生局地域共生社会推進会議 熊本県取り組み事例報告

令和元年（2019年）5月31日
熊本県 健康福祉部 健康福祉政策課
地域支え合い支援室

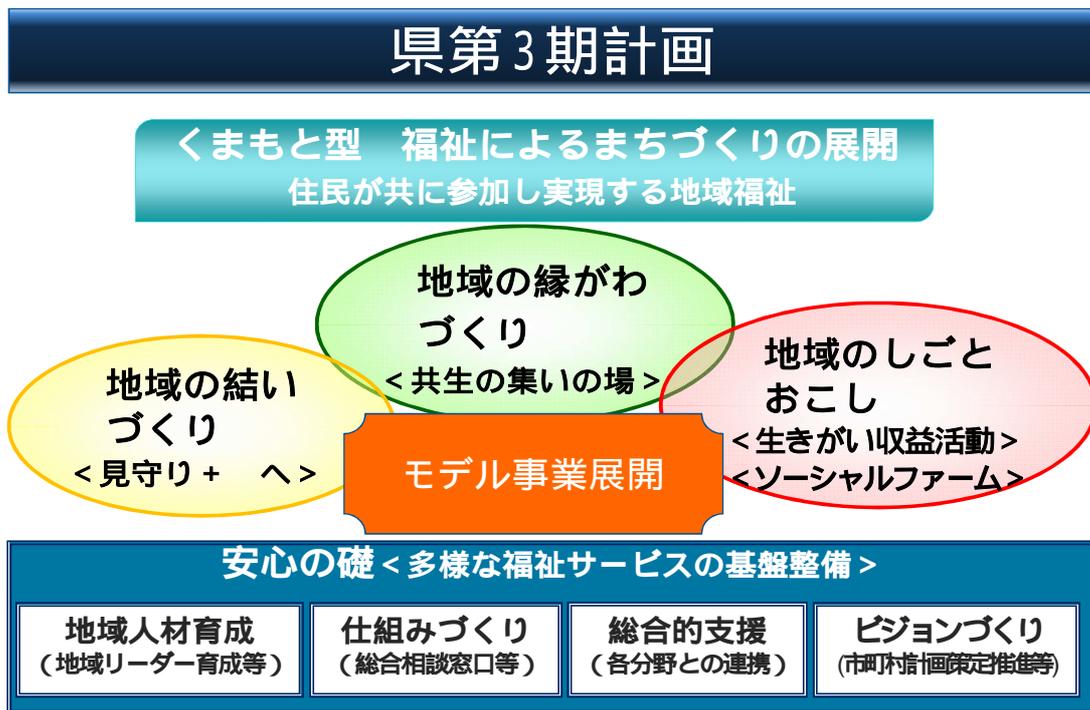
地域の縁がわづくりについて	... 2
地域の結びづくりについて	... 9
地域のしごとおこしについて	...12



はじめに

熊本県では、熊本県独自の強みである、県内 500 箇所以上で展開されている「地域の縁がわ」や、養成率日本一の認知症サポーターなどの資源を活かしながら、すべての住民の皆さんがそれぞれ「できること」を持つ主人公となって、地域の課題に積極的に関わり、地域の誰もが自己実現・社会参加できる「くまもと型福祉のまちづくり」を目指す「第3期熊本県地域福祉支援計画」(計画期間:平成28~32年度)を策定し、この計画を基に事業を展開しています。

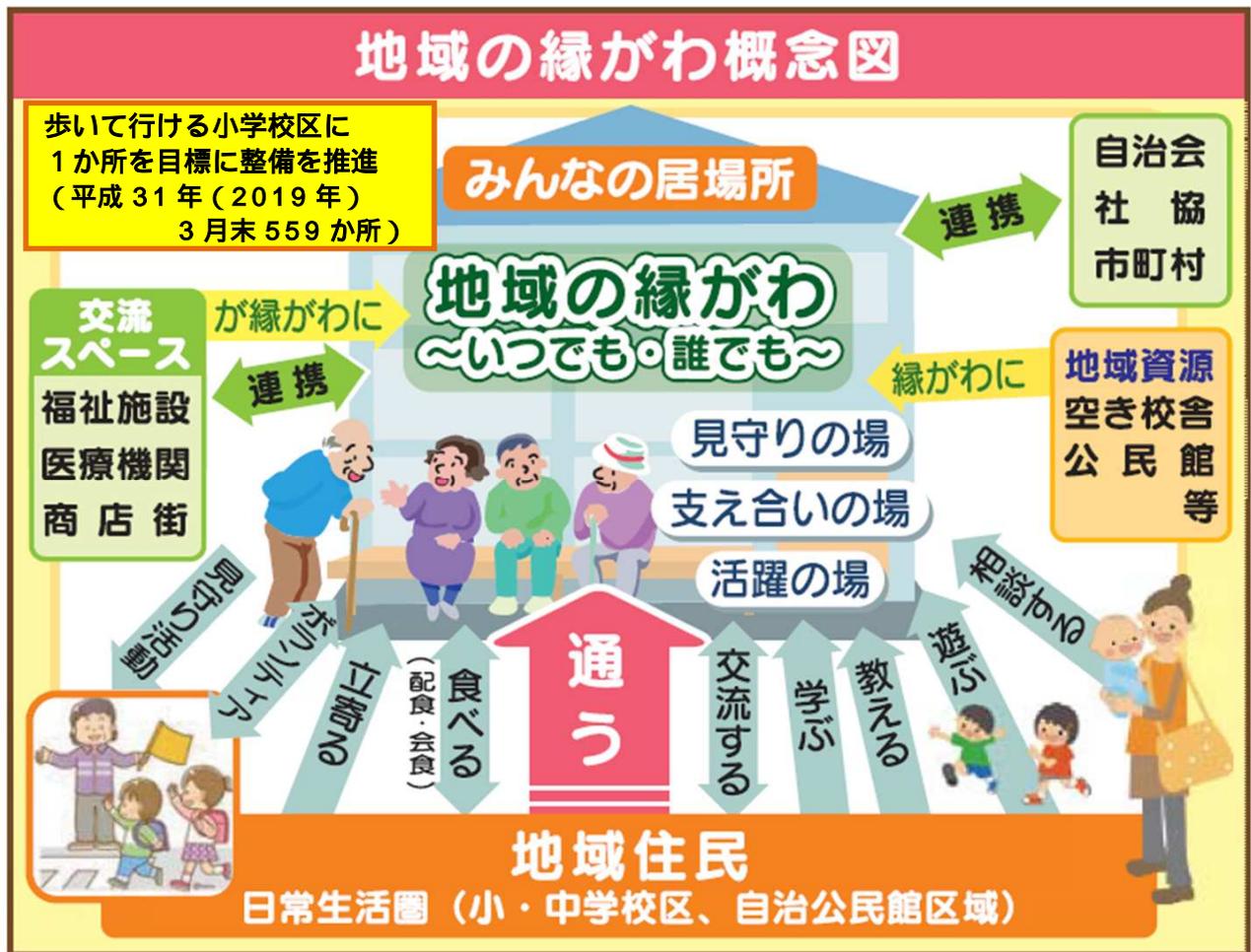
1 第3期熊本県地域福祉支援計画の概要



地域の縁がわづくりについて

第1 「地域の縁がわ」とは

- 高齢者、障がい者、子どもなど「誰もが」気軽に集うことができる所
- 参加者が限定されないこと
- 活動拠点があること（熊本県内）
- 登録時に概ね「週に1回程度以上の活動」をしている所
- 公設、民間設置を問わない
- 県の補助整備の有無も問わない



第2 地域の縁がわづくりの展開について

1 より身近な場所での取組みの促進

熊本県では、「地域の縁がわ」づくりを平成16年度（2004年度）からスタートし、誰もが集える身近な場所となるよう、平成16年当時の旧小学校区に最低1カ所を目標に整備を進めている。

また、「地域の縁がわ」にデイサービス等の日中支援とインフォーマルな宿泊機能を追加した「地域ふれあいホーム」の設置も推進している。

2 活動内容の充実

地域の縁がわの登録力所数は、平成 30 年度末時点で 559 か所にまで拡大し、地域の誰もが集う住民同士の交流の場として、様々な活動が展開されている。

地域の縁がわについては、平成 27 年度の介護保険改正により、各市町村では地域支援事業の受け皿が必要になることを見据え、地域の縁がわで取り組んでもらいたい生活支援等の機能を充実させるため、「地域の縁がわ五つ星プロジェクト」として、特に、次の 5 つの取組みを推奨している。



団体へ縁がわプレート及び五つ星シールを送付しています。

地域ふれあいホーム（「地域の縁がわ」の発展）

地域ふれあいホームのイメージ

地域共生型

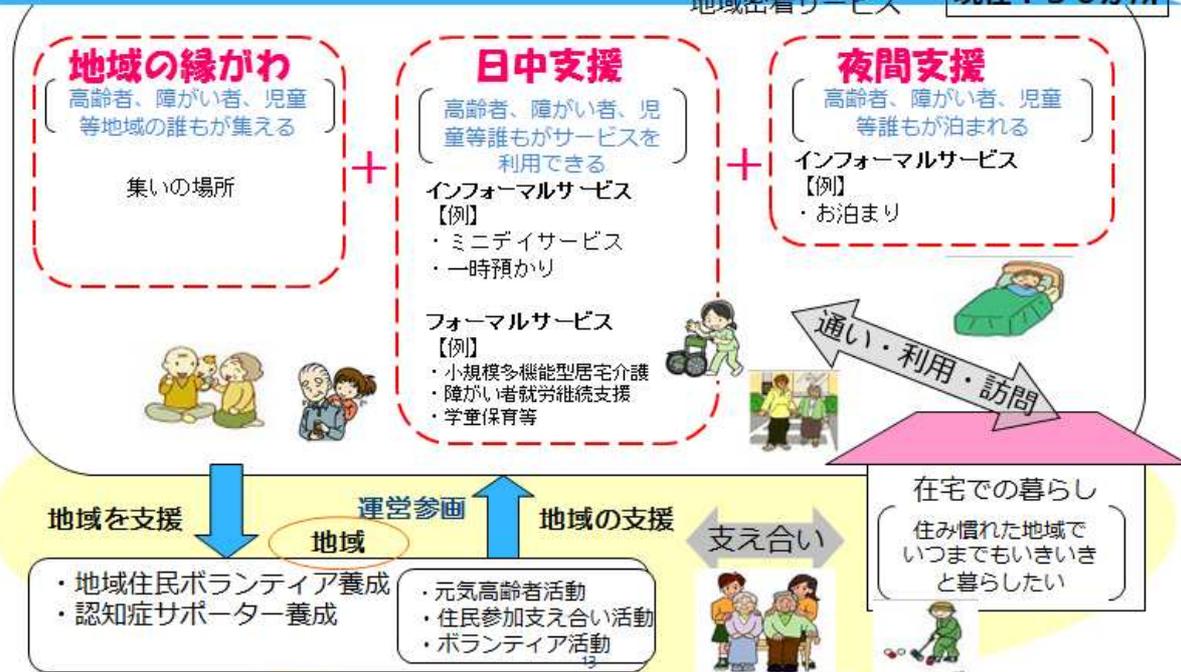
小規模多機能

福祉のまちづくり

地域ふれあいホーム

地域密着サービス

現在：30か所



第3 「地域の縁がわ」への支援（地域福祉総合支援事業）について

1 事業概要

県では、誰もが気軽に集い、支え合う地域の拠点「地域の縁がわ」及び地域の縁がわにデイサービス等の日中支援とインフォーマルな宿泊機能を追加した「地域ふれあいホーム」の設置促進を図るため、施設整備費等に対する補助を行っている。（ハード補助）

また、第3期熊本県地域福祉支援計画の推進に寄与する先駆的・モデル的な取り組みに対して補助を行っている。（ソフト補助）

本年度においては、「被災地特別枠（ ）」を設け、被災地におけるコミュニティ再生と生活支援を後押しする。

被災地特別枠

平成31年(2019年)3月31日現在で地域支え合いセンターを設置している18市町村

2 ハード補助の内容

(1) 対象団体

福祉活動を行う民間団体（社会福祉法人、特定非営利活動法人等）

(2) 対象経費

- ・「地域の縁がわ」及び「地域ふれあいホーム」の新築、改修、増築等工事、設備整備に要する経費
- ・「地域ふれあいホーム」におけるスプリンクラー、自動火災報知設備、消防機関へ通知する火災通報装置の整備に要する経費

(3) 補助率（限度額）

地域の縁がわ

	補助対象施設所在地	
	被災地特別枠	通常分（左記以外）
新築、改修、増築等	補助率：3/4(限度額：2,500千円)	補助率：2/3(限度額：1,000千円)

地域ふれあいホーム

	補助対象施設所在地	
	被災地特別枠	通常分（左記以外）
新築、改修、増築等	補助率：3/4(限度額：2,500千円)	補助率：3/4(限度額：2,500千円)
消防設備	a)自動火災報知設備 補助率：3/4(限度額：1,000千円) b)火災通報装置 補助率：3/4(限度額：300千円) c)スプリンクラー 7千円/m ² ×対象面積 a)+b)+c)の限度額：2,500千円	a)自動火災報知設備 補助率：2/3(限度額：1,000千円) b)火災通報装置 補助率：2/3(限度額：300千円) c)スプリンクラー 7千円/m ² ×対象面積 a)+b)+c)の限度額：2,500千円

3 ソフト補助の内容

(1) 対象団体

福祉活動を行う民間団体（社会福祉法人、特定非営利活動法人等）

(2) 対象経費

以下の6つの事業で、先駆的・モデル的な取組みに要する経費

（継続的事業の場合は2年間を限度） 第3期熊本県地域福祉支援計画期間と連動

見守り活動、配食・会食サービス、買い物支援事業、
生涯現役社会を支えるための健康づくり事業、学びの縁がわ事業、
その他、熊本県地域福祉支援計画の推進に寄与する事業

(3) 補助率（限度額）

1事業あたり補助対象経費の2/3以内（限度額：1,000千円）

補助対象施設所在地	
被災地特別枠	通常分（左記以外）
補助率：3/4 （限度額：2,000千円）	補助率：2/3 （限度額：1,000千円）

第4 地域の縁がわ情報交換会の開催について

1 事業概要

各運営団体が抱える課題解決や、活動のさらなる充実を図るとともに、各地域における取組の拡充を図ることを目的に、地域の縁がわ団体等の情報交換会を開催する。

2 令和元年度の実施回数及び内容

- ・県全体会：年1回程度
- ・内容（案）：先駆的事例の紹介、取組状況の情報交換、活動発表等

【参考：H29、30年度実績】

日付	場 所	参加人数	内 容
H30年2月6日	熊本市健軍文化ホール	172人	講演会、地域の縁がわシンポジウム、ワークショップ
H31年2月14日	熊本市健軍文化ホール	152人	講演会、地域の縁がわシンポジウム、ワークショップ

3 対象

県内で地域の縁がわづくりに取り組んでいる団体（取組予定も含む）、社会福祉法人及び支援機関等

地域の縁がわ五つ星プロジェクト取組事例



次世代を担う子ども達は、 私達が見守ります

公民館内に設置した「^{べにとり}紅取交流サロン」を拠点として、民生委員、老人会、婦人会、子ども会等と連携しながら、フリーマーケットや野菜づくり、男性料理教室、木工細工教室等の世代間交流、他自治会とのグランドゴルフ大会など、地域住民との交流活動に積極的に取り組んでいます。

平成25年度は、地域の子ども達が安心して下校できるよう、通学路に見守り活動の待機所を設置しました。地域住民が交代で見守り活動を行っています。これからも、子ども達の笑顔を見守っていきます。

地域の縁がわ名：^{べにとり}紅取交流サロン
運 営 団 体：人吉市中神町大柿町内会



人吉市中神町字大柿105-3
TEL:0966-24-6263



ほっとする家庭の味を 届けています

地域の縁がわ名：くたみの実家
運 営 団 体：特定非営利活動法人くたみ渋うちわ会

山鹿市認知症サポートリーダー養成講座1期生で、いろんな経験や知識を持った近所の顔見知り8人が、「講座終了後も、何か継続して地域活動をしよう！」と集まったのがきっかけで、地域の縁がわに取り組んでいます。

「豆腐のみそ汁が食べたい」というつぶやきがきっかけで、買い物や調理が困難な方に、月～土曜日、配食サービスを行っています。自家農園の野菜やご近所さんが育てた自慢の野菜を提供していただき、安心安全な食材で作ったお弁当です。おひとりおひとりの好みに合わせ、あたたかいお食事をお届けします。

また、お弁当を配達するだけではなく、見守りが必要な方には様子をうかがい、声かけなども同時に行っています。



山鹿市鹿本町来民584-4
TEL:0968-46-2469



移動販売車で買い物支援

地域の縁がわ名: **小規模多機能ホーム「絆」**
運営団体: **下矢部西部地区社会福祉協議会**

「地域の高齢者が自由に集えるサロンがあったら」という地域住民の声がきっかけとなり、廃校舎を活用し、取組みを始めました。

これまで、ボランティアによる高齢者筋力トレーニング等の介護予防教室や災害時避難宿泊体験など、地域支え合いの拠点として活動を展開してきました。

また、山間部で高齢化率が40%を超えるこの地域の住民の悩みの一つである買い物の不便さに対応するため、地区の4つの公民館で開催するコミュニティカフェに合わせて、移動販売車に来てもらい、買い物支援を行っています。

これからも、地域の課題解決のために、互いに支え合う地域をめざします。



上益城郡山都町猿渡1850
TEL:0967-74-0008



貯筋運動で、 高齢者も商店街も元気に！

地域の縁がわ名: **健軍まちなか図書室「よって館ね」**
運営団体: **健軍商店街振興組合**

健軍商店街の空き店舗を活用して、平成21年に「よって館ね」を開設。健康・福祉・子育てに関する情報提供、図書の閲覧や無料貸し出しなどを行っています。また、タクシー事業者と連携し、健軍商店街で買った商品を自宅まで届ける宅配サービスの受付窓口にもなっており、地域の方の集いの場となっています。

毎週木曜日の14時から、健軍商店街「貯筋運動」を実施しています。15分程度の器具を使わない簡単な運動を、曲に合わせて、リズムカルに継続することで、自然に筋肉が付き、介護予防につながります。運動した分、貯筋通帳に筋額が貯まり、健軍商店街で利用できるクーポンシートと交換できます。



熊本市東区若葉1-35-18
TEL:096-368-7312



生涯学習の場、 生涯現役を支える場として

地域の縁がわ名：くわのみ終活カレッジinドレミ村
運営団体：社会福祉法人青山会

住み慣れた地域で、最期まで自分らしく暮らし、「生き方」と「逝き方」を選べる元気な地域づくりをめざす「終活カレッジ」を開催しています。「終活カレッジ」では、人生の終わりを学びながら、これからの人生を自分らしく自己実現していくため、「終活講座」と「カルチャー講座」を毎週開催しています。

また、終活カレッジ受講生が中心となり、地域の方々との交流の場として「ソーイングカフェ」や「絵手紙教室」などを定期的で開催しています。

このような活動を通して、地域住民自身が、次々と新しい活動と交流を生み出す場となっています。



熊本市北区下碓川町480-1
TEL:096-245-1447

地域の結びづくりについて

1 事業概要

地域の結びづくり推進・支援事業では、ふれあいいきいきサロン活動、組織的に見守りを行う小地域ネットワーク活動などの地域住民が相互で支え合う活動の充実・強化に取り組む市町村社協を支援するとともに、災害時要援護者や孤立死防止の取組みなどの機能拡充に取組み、誰もが身近な地域で安心して生活できるまちづくりを推進する。

2 地域の結びづくり推進・支援事業の推進について

(1) 小地域ネットワーク活動 (実施主体：市町村社協等)

小学校、行政区、自治会等の地域を範囲とした小地域で、何らかの福祉的な支援が必要な方へ地域住民が行う見守り活動や援助活動。

本県では、決められた人が決められた人を見守る組織的な見守りが、全市町村で実施されることを目指している。

実施市町村：H29 末 78% (35/45 市町村 H32 目標：100%)

(2) ふれあいいきいきサロン活動 (実施主体：市町村社協等)

ひとり暮らしや家の中で過ごしがちな高齢者等と、地域住民が身近な場所に気軽に集い、生きがいつくり・仲間づくりの輪を広げ、介護予防などの活動を行うもの。さらに、高齢者だけでなく、子どもや障がい者など誰でも参加できるサロン(地域の縁がわ)への展開を図る。

実施市町村：H29 末 2,603 か所

(3) 地域福祉推進フォーラム (県社協委託)

地域の結びづくり(小地域ネットワーク活動等)をはじめ、第3期地域福祉支援計画に基づく本県における地域福祉活動の普及・推進のため、県内外の先進的な地域福祉の取組みに係る実践報告やパネルディスカッション等を実施する。

H30 実績：H31 年 1 月 25 日 参加者数：600 名 基調講演・トークセッション

(4) 地域福祉推進サポーター派遣事業 (県社協委託)

実際に小地域ネットワーク活動の普及に先進的に取組み、成果を上げている市町村社協職員や地域福祉の専門家をアドバイザー(地域福祉推進サポーター)として、ネットワーク活動に取り組む市町村社協に派遣し、小地域ネットワーク活動や地域福祉活動計画の策定等を支援する。

H30 実績：4 市町社会福祉協議会へ地域福祉推進サポーターを派遣

(5) 地域の底力向上研修事業 【令和元年新規】 (県社協委託)

自治会長等を対象として、地域福祉活動のリーダーとなる人材を養成する。令和元年度は、災害公営住宅を建設する市町村における養成に重点を置く。

(6) 熊本見守り応援隊

民間事業者の協力を得て行う見守り活動。民間事業者と協定を締結し、日常業務を通じた見守りを実施している。

県警本部、熊本県社会福祉協議会、熊本県及び熊本市民生委員児童委員協議会、熊本県の5者と事業者で協定締結。

熊本見守り応援隊協定事業者：20事業者（H31.4月末時点）

株式会社熊本日日新聞社、朝日新聞熊本県朝日会、毎日新聞社熊本支局、熊本県南読売会、熊本県北読売会、西日本新聞エリアグループ熊本、社団法人熊本県エルピーガス協会、社団法人熊本県タクシー協会、西部ガス株式会社熊本支社、郵便局株式会社、九州電力、熊本県農業協同組合中央会、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、生活協同組合くまもと、熊本ヤクルト株式会社、佐川急便株式会社、株式会社産交ミック、布亀株式会社、ヤマト運輸株式会社、一般社団法人熊本県医薬品配置協会

主な役割

民間事業者

日常の業務の中で、地域住民に関して何らかの異変を察知した場合は地域の社会福祉協議会に、また、緊急の場合は警察署に連絡・通報する。

市町村社会福祉協議会

民間事業者からの連絡を受け、担当の民生委員等に連絡し、見守りへの協力を求める。

民生委員・児童委員

地域の社会福祉協議会からの連絡を受け、対象世帯を訪問し、安否確認をする。

各警察署等

民間事業者からの通報を受け、所要の警察活動を行う。

熊本県社会福祉協議会、熊本県民生委員児童委員協議会、熊本県警察本部

各々の関係機関等に対して協定の趣旨を周知し、取組の円滑な実現を支援する。

熊本県

参考マニュアルの作成のほか、県内の各地域間のネットワークの構築を支援する。

地域のしごとおこしについて

1 事業の概要

福祉の視点を持った地域の縁がわ等からの起業化や、経済的活動によって障がい者の方なども含めた誰もがいきいきと活躍できる場の創出や高齢者等の生きがいにつながる取組みを支援するため、事例と課題の把握と検証、普及啓発等を実施する。

2 平成31年度地域づくり夢チャレンジ推進補助金「地域のしごとおこしの取組み」 (育成段階・起業化段階補助)

地域づくりチャレンジ推進事業(所管:地域振興課)の「企業の誘発」分野で、「地域のしごとおこしの取組み」として、補助事業を実施。

(1) 対象団体

地域福祉取組団体

(2) 種別及び上限額

育成段階(ソフト事業)

- ・将来的な事業の開始、起業拡大するための商品開発に要する経費に補助
(上限1,000千円、補助率3/4以内)

起業化段階(ソフト・ハード事業)

- ・事業の立ち上げ、規模拡大に要する経費に補助
(上限5,000千円、補助率 ソフト事業分3/4以内、ハード整備分1/2以内)

実績

- H30: 交付決定団体なし H29: 起業化段階(1団体)
 H28: 交付決定団体なし H27: 起業化段階(1団体) H26: 交付決定団体なし
 H25: 育成段階補助(2団体)、アドバイザー派遣(1団体)
 H24: 育成段階補助(1団体)、起業化段階(2団体)、アドバイザー派遣(1団体)

【交付決定団体の概要】

年度	種別	団体名 (自治体)	事業名	事業内容	総事業費	交付決定額 (千円)
29	起業化	社会福祉法人 小国町社会福祉協議会	熊本県推奨大豆 「すずかれん」 を活用した農福 連携事業	高齢者や障がい者などと耕作放棄地を活用した県推奨大豆「すずかれん」の栽培及び大豆の加工・販売。	3,530	1,330
27	起業化	NPO法人くまもと障がい者就労支援ネットワークらんどカフェ八代(八代市)	障がい者の自立に向けた菓子類製造販売事業	地域の農家の協力を得て、八代特産の資源を用いたかりんとうを開発し販売する。	1,525	1,000

(続き有り)

【交付決定団体の概要】(続き)

年度	種別	団体名 (自治体)	事業名	事業内容	総事業費	交付 決定額 (千円)
25	育成	特定非営利活動法人お～さあ (熊本市)	お～さあ地域の縁がわソーシャルファーム事業	健康軍くらしささえ愛工房のお～さあ喫茶内で、法人に集う若者とともにもに地元農産物等を活用した喫茶メニューの開発を実施。	1,525	1,000
25	育成	NPO法人ばらん家 (芦北町)	生き・イキ暮らし隊	地域住民と高齢者、障がい者との交流の場をつくとともに、特産品の開発や雇用創出等を目指し、パンやピザ等の加工品開発を実施。	1,592	1,000
24	起業化	社会福祉法人菊愛会 (菊池市)	障がい者と高齢者が共に取り組む地域の支事おこし事業	障がい者や高齢者などと耕作放棄地や休耕田を活用したそば販売を行い、玄そば、そば粉、そば粉を使った饅頭、クッキー等を販売。	3,789	1,894
24	育成	NPO法人くたみ渋うちわ会 (山鹿市)	くたみの実家がまだしもんプロジェクト	見守りを兼ねた配食サービスの実施。また、地域で採れた野菜やその加工品などを、東京等に在住する熊本県出身者に販売するための実証実験を実施。	1,221	814
24	起業化	NPO法人にしはらたんぼぼハウス(西原村)	阿蘇の地域性を生かした郷土料理レトルトカレー加工食品事業	食料確保に苦勞している山間部の高齢者のため、阿蘇の郷土料理をレトルトや缶詰にして販売。更に、災害時の食料として社会福祉施設などに販売。	2,698	1,348

「地域のしごとおこし」 取組事例①

資料

阿蘇の郷土料理を缶詰・レトルト食品に加工して販売

地域の元気の発信の場



自然栽培の米づくり



商品開発



地域住民のサポート

日頃食べなれた阿蘇の郷土料理を長期保存が可能なレトルトや缶詰にして、日常の買い物や移動販売に頼っている山間部の高齢者世帯等に販売。

NPO法人にしほりたんぽぽハウス

「地域のしごとおこし」 取組事例②

耕作放棄地でそばを栽培し、そば粉を使って商品開発

無農薬のそばを収穫



機械の導入により、地域の高齢者も栽培可能に。
※秋蒔き付け5ha

商品開発



障がい者と高齢者が協力して、そば粉を使って商品を開発。
地域の縁がわに併設しているパン販売所等で販売予定。

社会福祉法人 菊愛会

「地域のしごとおこし」 取組事例③

野菜やその加工品を都市圏在住の県出身者へ販売

地域の農産物を加工



農産物の詰め合わせを県外へ



NPO法人くたみ漬つちわ会

都市圏に出た熊本県出身者に「くたみの実家の婆ちゃんの味」を届ける！をコンセプトに地域の方々と頑張ってます。

地元で弁当の宅配も



「地域のしごとおこし」 取組事例④

大豆（すずかれん）を栽培し、豆腐等の加工・販売

研修会の実施



高齢者や障がい者などによる農作業



加工・販売



高齢者や障がい者などの協力のもと、耕作放棄地を活用した大豆「すずかれん」を栽培。豆腐・油揚げ・厚揚げに加え、味噌の商品化にも取り組む。

社会福祉法人 小国町社会福祉協議会